



# 「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail : [kibou\\_donguri@ninus.ocn.ne.jp](mailto:kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp)

HP : <http://kibou-donguri.org>

グループホームだんらんの朝食・夕食・お弁当

## 食卓に笑顔あり



家庭菜園をされている近所から野菜をいただくことしばしば。ありがたく使わせていただいています。ありがとうございます。

だんらんでは、特別な献立ではありませんが、できるだけ手作りで温かいお食事をお出しすることにこだわっています。それは、もしも、心が穏やかではない時でも、少しでも心が楽になれば嬉しいと思いつけています。そして、世話人(食事を作る職員)は、「美味しい」と言われると、作り甲斐がある、家族にはなかなか言ってもらえないから(笑)などと冗談？を言って笑わせてくれます。(^^) \_U~

精神障がい・精神疾患 ご家族のための

### おしゃべりサロン

日時 11月13日(水)・12月11日(水)

いずれも 15:30~17:00

場所 どんぐり工房

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

対象者 精神障がい・精神疾患のある方のご家族

参加費 100円 (お茶・お菓子)

お問合せ 043-421-6645

ここにお集まりの皆様、気兼ねなくお話しをしていただき、お互いの経験から得た創意工夫など、情報共有をしていただく場になればよいと思っております。

※プライバシーは保護いたします

心の病気について知る

～シリーズ 精神疾患(1)～

### ◇◇ 統合失調症 ◇◇

統合失調症は、こころや考えなどがまとまりを欠いた状態になる病気です。そのため行動や気分、人間関係などに様々な影響が出ます。100人に1人くらいがかかるといわれていて、それほど珍しい病気ではありません。早めに治療するほど症状が重くなりにくいといわれているので、早期発見と早期治療が大切です。

出典(厚生労働省 HP・心の病気について知る)

厚生労働省/統合失調症 で検索 🔍



# 地域活動支援センターどんぐり工房

## ～市役所・イベント販売までの流れ～

メンバー（利用者）の  
「やってみたい」「これならできそう」の思いを  
大切にして、みんなでチャレンジしています

### 商品作成



メンバーご自身でデザインを考え、生地を選び、制作されている商品もたくさんあります

ミシンが苦手というメンバーは、職員に手ほどきを受けながら、ゴム通しなどもします



今では珍しい『数珠の実』を使ったお手玉も作っています

いろんな味の、クッキーも作っています

### 値札付け

これ、いくらなら  
うれるかな？  
(〜♪)



商品に、手書きの値札を  
つけます

### 販売陳列



売り子担当のメンバーと職員で商品を並べます  
売り上げは、メンバーの工賃（給料）に反映されます

### 販売表記入



並べる商品が決まったら、「販売表」に記入します。

### 商品選別

今日は、どれを  
売ろうかな？



みんなで選んで、販売ブースに並べる商品を決めます

## ～今後のイベント販売予定～

10月5日(土) よつかいどうユニバーサル工業フェスタ2024

※雨天6日(日)に順延(四街道工業団地協同組合敷地内)

10月26日(土)・27日(日) 旭ヶ丘オータムフェスティバル

11月 2日(土) よつかいどう共栄フリーマーケット ※雨天3日(日)に順延

11月16日(土)、ちばユニバーサル農業フェスタ2024

※市役所販売 毎月第1・3火曜日 午前11時～午後1時半

ただし、新庁舎開設に伴い、10月は販売休止 11月から再開

## ポッチャ大会の結果

9月14日(土)四街道市立中央小学校で開催されたポッチャ大会で、どんぐり工房メンバーのHチームは準優勝でした！

会場はとっても暑かったのですが楽しい時間でした

新美南吉の絵本を何冊か読んでみて、そういえば和歌というものがあると言っていた姉の言葉を思い出した。「お姉さん」という人に頼み一冊の和歌集を取り出してもらった。万葉集というのだそうだ。ところが縦にしても横にしても文字が読めない。

「あんた、本がさかさまよ」

「漢字が読めないんだ、ひらがなで書いてあるものはないかね」

「ひらがなの本は絵本しかないな、学校で勉強しなぐちゃね」

そこで図書館の室内をぐるりと回ってみた、みな漢字混じりである。

「何故漢字がこんなに多いんかね」

「漢字のたった一文字にも意味があるの、どれか読んでやろうか」

そこで私は注意を傾け聞いてみた、ところがいくら聞いてもさっぱり判らない。「お姉さん」という人は笑っていた。

「これが判るようになるのは中学生くらいになってからかしらね、この本には解説も書かれているから借りてみる？あゝ、駄目か、小学生にならないと借りられなかったんだっけ」

せっかく読む気になったのに申し訳ないね、と言われたけれど、それならと万葉集の何篇かを讀んでもらい、解説まで教えてもらった。数編を平仮名で

書き込み家まで持ち帰った。

早速姉たちに話してみた、こんな一遍である。

けんなきものをおもわずば いっぱいのにこれる  
さけを のむべくあるらし

「へえ、良く調べたものだね」

余りに驚かれるので図書館の「姉ちゃん」に教えてもらったことを白状した。

「なんだ、職員に教えて貰ったのか、漢字でないと読みづらいものだね」

下の姉はがっかりしたようである。

「経験して知ったことでないものを考えることより濁った酒を飲むべきものというんかい、濁った酒って濁り酒のことかね」

「またろくでもないことを覚えてきて、酒を飲むには一〇年早いよ」

親はまた嘆いた。

「いいかい、酒なんか自分で稼げるようになってから飲むべきものだ、お前の年で酒を楽しむなんて判りっこないよ」

「酒の話ばかりじゃない、もう一遍あるよ、ほれ、

たびとこのやどりしせむのにしもふらば  
わがこはぐくめあめのたづむら

どんなもんかね」

「まだ漢字は書けないのかい」

母親はさっそく否定したが姉たちは面白がって紙を覗いた。

「へえ、遣唐使随員の親の詩か、哀しい詩だね」

「なんだい、それ」

「そんなことも知らずに書いてきたのかい」

親は氣落ちがしらしい。

「遣唐使のお供をして遠方まで出ていった者の身を案じた母親が書いた詩だよ、二度と故郷へ戻れない身を心配し、天に祈るばかりだったろうさ」

「なんだい、そんな遠い国に流されたんかい、出世じゃなさそうだね」

「兵隊に取られたようなものさ」

母親はなぜか語気を強めた。

「お前はまた命を知らないね、お前が国から兵隊になれと言われたらどうするんだい」

「なにしろ歳が年なもので」

「その減らず口は叩かれ食いちぎられるよ」

「そんなにおっかないものかね」

「あゝ、国のやることなんか血も涙もないよ」

「私等が生まれたころはまだ戦時中でね、お母さんたちは苦勞をしたんだって、生きられるかどうか判らなかつたって、そのころを私たちは憶えていないけれど」

「じゃあ、今は生きるに案ずるっていうことはないのかね」

「誰の入れ知恵だい」

「図書館の姉ちゃん」

「新作が地獄に落ちたら閻魔様に早速舌を引っ抜かれるね」

姉たちは笑った。

「なんで地獄に落ちなければならんだい、悪いことでもやったって言っんかい」

「新作はまともなことをやっていると思うの」

「今のところ」

# 精神に障がいのある方へ

NPO 法人 希望 地域活動支援センターⅢ型

## どんぐり工房

のご紹介

お家から

一歩外へ

出ませんか

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。  
やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。

昼食作り

クッキー・パン等  
製造

手工芸品の製作

シール貼り

市役所・イベント  
販売

おしゃべり

書道

農園作業



これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジェンガ・ダイヤモンド等）  
絵を描いたり何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

### 見学大歓迎

#### 地域活動センター どんぐり工房

開所日 月～金曜日

（土・日・祝祭日お休み）

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

アクセス：四街道駅北口 徒歩5分

連絡先：四街道市四街道 1-6-11 田中ビル3F

TEL・FAX：043-421-6645

#### グループホームだんらん

定員 6名（令和6年10月現在満室）

アクセス：バス停 茶屋の作 徒歩8分

所在地：四街道市栗山 886

TEL・FAX：043-312-9870

### 会員募集

私たち「希望」は、精神に障がいを抱える方々  
に対して、保健・福祉の向上を図る事業を行い、  
障がい者が地域で自立して生活できるように  
支援することを目的として活動しています。

本会の目的にご賛同いただける方・団体は、  
どなたでもご入会いただくことができます。

個人正・賛助会員・2,000円/年

団体正会員・・・2,000円/年

団体賛助会員・・・5,000円/1口

詳細はQRコードから  
HPをご覧ください。

